

サステナブル課題の特定

ステークホルダーの意見を踏まえ、重要課題を特定

ステークホルダーから求められる視点、当金庫としての重要課題の視点に基づき、5分野14課題のサステナブル課題を設定しました。設定にあたっては以下の4点に留意し、右図のようなプロセスで策定しました。

留意した点

- ① 持続可能性に関する課題への対応を念頭に置くこと
- ② 当金庫を取り巻くステークホルダーの意見を踏まえること
- ③ SDGsをはじめサステナビリティに関するさまざまな視点に留意すること
- ④ 中期経営計画(2019～23年度)を踏まえること

今後も、社会動勢を踏まえて、適宜課題の見直しを行っていく考えです。

ビジネスモデル整理

当金庫の各本部へのインタビュー

ステークホルダー特定

重要なステークホルダー
(会員・地域社会/従業員/顧客等)の特定

課題リスト作成

サステナブル課題ユニバースの策定
(ISO26000/GRI/SDGsをベースに作成)

課題リストから重要課題の特定

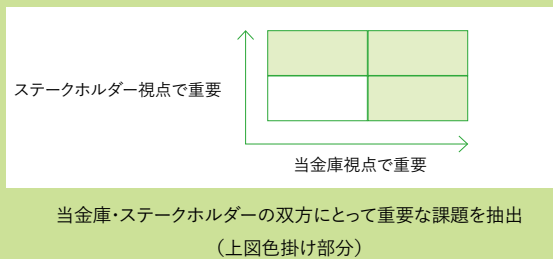
ステークホルダー・インタビュー
インタビュー対象
系統全国連(農業・水産業・林業)、
取引先(農業法人)

社内インタビュー

ステークホルダーの
重要課題の特定

当金庫の重要課題の特定

課題マップの作成



5分野14課題の設定

特定されたサステナブル課題(5分野14課題)

分野1 農林水産業・食・地域へのポジティブインパクトの創出

- 課題1-1 持続可能な農林水産業への貢献
- 課題1-2 安心・安全な食料供給への貢献
- 課題1-3 持続可能な地域コミュニティへの貢献
- 課題1-4 農林水産業の基盤としての自然環境の保全
- 課題1-5 ビジネスイノベーションの創出

P31

分野2 責任ある金融の推進

- 課題2-1 サステナブル・ファイナンスの推進
- 課題2-2 持続可能なエネルギー活用への貢献
- 課題2-3 誰も取り残さない金融の実現

P41

分野3 サステナビリティ経営の推進

- 課題3-1 透明性のある組織統治体制の確保
- 課題3-2 環境や社会に関するリスク機会の管理強化
- 課題3-3 ステークホルダーエンゲージメントの強化

P45

分野4 高度な人財の確保

- 課題4-1 ダイバーシティと機会均等の向上
- 課題4-2 人財育成の強化

P48

分野5 金融機関の信頼基盤維持

- 課題5-1 コンプライアンス態勢のさらなる強化

P57